

# 神戸赤十字病院



原稿執筆者名：放射線技師長 古東正宜

所在地：兵庫県神戸市中央区脇浜海岸通1丁目3-1

TEL078-231-6006（代表） FAX078-241-7053

## 病院概要

病床数：310床

診療科目：24診療科

内科 心療内科 呼吸器内科 消化器内科 循環器内科 神経内科 糖尿病・代謝内科  
外科 心臓血管外科 整形外科 脳神経外科 呼吸器外科 消化器外科 婦人科 小児科  
皮膚科 泌尿器科 耳鼻咽喉科 眼科 放射線科 麻酔科 リハビリテーション科  
病理診断科 形成外科

## 施設紹介

職員数： 739 名（内 137 名は兵庫県災害医療センターへ派遣）

医師数： 106 名（内 20 名は兵庫県災害医療センターへ派遣）

看護師数：426 名（内 90 名は兵庫県災害医療センターへ派遣）

診療放射線技師数：21 名（内 3 名は兵庫県災害医療センターへ派遣）

（男性技師 17 名・女性技師 4 名）

認定技師等取得件数：42 件

認定内容：	・第 1 種放射線取扱主任者	4 名（別途；未講習者 3 名）
	・検診マンモグラフィ撮影認定診療放射線技師	2 名
	・X 線 CT 認定技師	8 名
	・肺がん CT 検診認定技師	1 名
	・血管撮影・IVR 専門技師	1 名
	・核医学専門技師	2 名
	・救急撮影認定技師	6 名
	・医用画像情報専門技師	1 名
	・医療情報技師	2 名
	・医用画像情報管理士	2 名
	・MRI 認定技師 4 級	1 名
	・CT 認定技師 3 級	1 名
	・放射線管理士	1 名
	・Ai 認定技師	1 名
	・赤十字救急法指導員	2 名
	・赤十字水上安全指導員	2 名
	・DMAT 隊員	6 名

当直・夜勤体制について

- ・2 名体制

### 導入機器

〔種類・(台数)・メーカー 機器名・(導入年度)〕

一般撮影 (2 台)

- ・東芝メディカル KXO-50 (H15.8)
- ・FPD コニカミノルタ AeroDR ・AeroDR Premium (H28.2)

マンモグラフィ (1 台)

- ・富士フィルムメディカル AMULET-f (H27.2)

## 施設紹介



一般撮影装置



マンモグラフィ

### ポータブル (2台)

- 日立メディコ シリウス130HP (H15.8)
- FPD コニカミノルタ AeroDR Premium (H28.2)

### CT (2台)

- 東芝メディカル Aquilion 16 (16列) (H21.3)
- 東芝メディカル Aquilion Prime (80列) (H24.9)
- ワークステーション アミン Ziostation 2



16列CT装置



80列CT装置

### MRI (2台)

- フィリップス イレクタ Achiva 1.5T (H15.8/H24 アップグレード)
- GE ヘルスケア SIGNA Explorer 1.5T (H28.8)
- ワークステーション アミン Ziostation 2

### SPECT (1台)

- GE ヘルスケア Discovery NM630 (H28.3)
- ワークステーション アミン Ziostation 2



1.5 MRI 装置

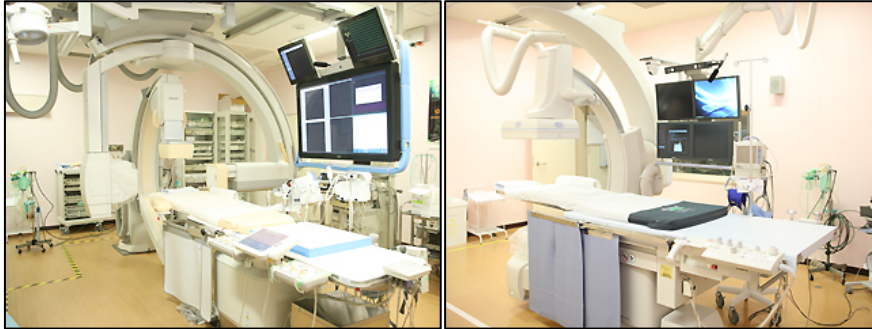


SPECT 装置

## 施設紹介

### 血管造影 (2台)

- フィリップス医療システム Allura Xper FD10/10 Clarity (心カテ用) (H25.3)
- 東芝メディカル Infinix Celeve-i INFX-8000C (頭腹部血管撮影用) (H25.8)
- ワークステーション アミン Ziostation 2



心カテ装置

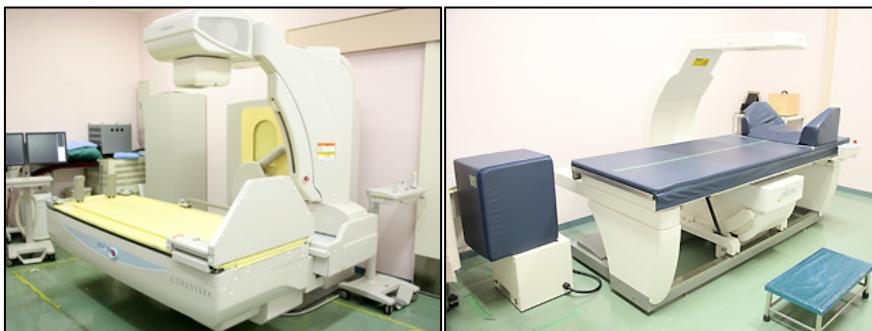
頭腹部血管撮影装置

### X線TV (2台)

- 日立メディコ CUREVISTA (H22.3)
- 東芝メディカル UDT-500A (泌尿器用) (H15.8.)

### 骨密度 (1台)

- HOLOGIC DELPHIQDR-SL (H15.8.)



X線TV装置

骨密度装置

### PACS/RIS/Report

- 富士フィルムメディカル SYNAPSE (H27.9)
- 富士フィルムメディカル F-RIS/F-Report (H21.3)
- 東芝メディカル CARDIO AGENT (動画サーバー) (H22.9)

### 紹介画像取り込み・出力機器

- アレイ AOC (H21.5)
- PSP 外部メディア管理システム (1次サーバ) (H28.3)

### 放射線科の移り変わり

神戸赤十字病院は、旧神戸赤十字病院と旧須磨赤十字病院が合併し、平成 15 年に開院しました。開院当初に設置された大型放射線機器は 10 年以上が経過するためにこの 5 年間で大きく変化しました。X 線 CT 装置は多列化（80 列・16 列）となり、血管撮影装置・心カテ装置および X 線 TV 装置は FPD 搭載装置となりました。乳房撮影装置は、平成 27 年に FPD 搭載装置に更新しました。また、一般撮影装置は、平成 28 年 2 月に CR から FPD システムに全面更新しました。通常の一般撮影に加え、全脊柱や下肢などの長尺撮影や病室撮影も全て FPD で対応しています。MRI 装置は、1 台運用のために患者待ち日数が長く、早出・遅出の時差出勤で対応していましたが、平成 28 年 9 月に 2 台目の MRI 装置を追加導入し患者待ち日数の短縮に繋げています。放射線治療装置（リニアック）は、諸事情により平成 28 年 3 月末で廃止とし、放射線治療患者については、地域の医療機関と連携を取りつつ、放射線治療後患者の経過観察や放射線治療適応に関するコンサルテーションは、今まで通り放射線治療外来で行っています。

私たち診療放射線技師にとって、開院からこの約 13 年は、あっという間に過ぎ去った感があります。開院当初は旧神戸・須磨病院スタッフ、他施設からの異動、そして新規採用者などの寄せ集め集団 20 名でのスタートでした。スタッフの多くは、MRI・核医学・放射線治療・救急等は未経験で、開院後に救急当直が始まると各自が不安なため、毎日ボランティア当直でいっぱいとなり、誰が本当の当直か分からないほどでした。当院の大きな特徴の一つであるフィルムレス環境によるモニタ診断は、今でこそ多くの施設で行われていますが、当時兵庫県では初の試みであり、全国でも数少ない運用でありました。これには、設計の段階で方針が決まっていた事と、放射線診断医がスムーズで的確な画像診断を提供し各診療科がレポートを元に診療を行う運用を徹底したためと考えております。スタッフは、患者さんに優しく接するとともに個々に最新の知識及び技術を身に付けるべく各専門技師取得や学会発表に精進しております。

### 当院の新しい業務の取り組みや業務改善の紹介

当院は、同じ敷地内に隣接する兵庫県災害医療センターと一体運用していますが、災害医療センターは 3 次救急を受け入れる高度救命救急センターで、当院は 2 次救急の受け入れ施設です。開院当初は両施設間の異動は滞っていましたが、約 5 年前より定期異動をするとともに院内部署での定期ローテーションを活発に行うようにしました。それにより MRI 検査に加え心臓カテーテル検査・脳血管内手術などの特殊業務については当直技師の約 9 割以上が対応可能となり、オンコールはほぼ無くなりました（多忙時のオンコールは有り）。平日勤務では、業務前に出勤者全員で朝礼を行い業務連絡・機器修理状況報告・インシデント報告などを行い、週に 1 回程度は各部署内ミーティングを行い、情報共有をしています。

組織図としては、技師長 1 名・課長 2 名・係長 4 名で構成されており命令系統の統率化が図られピラ

## 施設紹介

ミッド体制が確立しています。また、課長以下のスタッフには長期目標と短期目標を掲げさせ、技師長との年2回の個人面談を実施しコミュニケーションをとっています。

スタッフは、スキルアップのために多くの研究会・勉強会に参加し、月1回は部内のグループ毎の勉強会・症例検討会を行っています。この3年間の学術業績は、学会発表として放射線技術学会総会・日本放射線技師学術大会・日赤医学会総会・日本集団災害医学会・日本臨床救急医学会などに45演題(年平均15演題)、講演は31件(年平均10件)、論文・執筆は4件でした。また、専門技師・認定技師取得に向けて推奨しており合計42件もの認定技師等取得件数を有しています。

### スタッフ紹介



神戸赤十字病院 スタッフ-1

#### 放射線技師の構成

放射線技師長	1名
放射線課長	2名(内;災害1名)
放射線係長	4名
放射線技師	14名(内;災害2名)
合計	21名(内;災害3名)



神戸赤十字病院 スタッフ-2



兵庫県災害医療センタースタッフ

### 地元紹介

神戸市は、人口約 150 万人の兵庫県南東部にある日本を代表する港町です。六甲山系と海に挟まれた狭く細長い場所に市街地(三宮・元町など)や代表的な住宅地がよこたわり、六甲山の北側には日本三古湯の一つとして有名な有馬温泉があります。

摩耶山の掬星台から望む夜景は、日本の三大夜景として有名でここからは神戸だけでなく大阪とその間にある芦屋、西宮などの阪神間の夜景も眺める事ができ、三大夜景の中でも最も広く、また遠くまでの夜景を楽しむ事ができます。夜景は掬星台だけではなく、その他の多くの展望台から眺める事ができます。

神戸の食材といえば神戸牛が有名です。神戸牛は兵庫県で生産された「但馬牛(たじまうし)」という黒毛和牛の中でも、一定の基準を満たしたもののみを指します。その品質の高さから日本三大和牛の1つとされています。また、「南京町」と呼ばれる 100 の店舗が連なる中華街があります。ここは日本 3 大チャイナタウンの一つとされています。神戸市東部は、西郷(にしごう)、御影郷(みかげごう)、魚崎郷(うおざきごう)、西宮郷(にしのみやごう)、今津郷(いまづごう)の 5 つの郷「灘五郷(なだごごう)」からなる、兵庫県内の日本酒の生産地です。この地域で酒造りが始まったのは、室町時代(1336~1573 年)までさかのぼります。灘五郷では、今も昔ながらの風情が残る酒蔵通りがあり、お酒の香りがほのかに漂っています。蔵元それぞれの個性が伝わる銘酒を試飲したり、酒造りの工程を通じて伝統の技にふれたりもできます。

また、神戸といえば、全国でも人気店が多いスイーツの街です。ただ美味しいだけでなく、見た目もおしゃれなスイーツが多数あります。最後に神戸市は、多くの観光スポットや美味しい食べ物が多く存在する魅力あふれる都市です。有名な観光スポットの多くは、三宮・元町エリアとベイエリアなど都心部に集中しているため、時間を有効に使えばたくさんの観光スポットを見て、美味しい食事を楽しむことができます。都心部以外にも、六甲山や有馬温泉などの有名観光地があるので、何日か滞在して、じっくりと堪能してみるのも良いかもしれません。

